

平成 23 年度 第 2 回常任委員会議事録（案）

日 時：2011 年 7 月 11 日（月）14：00～17：00

場 所：ホテルモントレ大阪 14F 浪鳴館

出席者：二羽委員長，下村幹事長，大津，岡澤，金津（代理 松村），鎌田，河合，河野，岸，黒田，佐藤（勉），島，武若，田中，中村，西垣，信田，橋本，丸山，睦好，横田，六郷の各常任委員，綾野，岩波（記録），小林，佐藤，久田，丸屋の各常任委員兼幹事，村木（事務局）（敬称略）

配付資料：

- 2- 0 平成 23 年度第 2 回常任委員会 議事次第
- 2- 1 平成 23 年度第 1 回常任委員会 議事録（案）
- 2- 2 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会 資料
- 2- 3 委員会活動期間の延長願（けい酸塩系表面含浸材設計施工研究小委員会（275 委員会））
- 2- 4- 1 土木材料実験指導書編集委員会 委員構成（案）
- 2- 4- 2 けい酸塩系表面含浸材設計施工研究小委員会（275 委員会）委員構成（案）
- 2- 4- 3 国際関連小委員会 委員構成（案）
- 2- 4- 4 規準関連小委員会 委員構成（案）
- 2- 4- 5 コンクリート教育研究小委員会 委員構成（案）
- 2- 4- 6 示方書改訂小委員会（101 委員会）維持管理編部会 委員構成（案）
- 2- 5 第 3 種小委員会に関する申合せ事項
- 2- 6 3 種委員会（鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会）の 2 期目の申請について
- 2- 7- 1 コンクリート中の鋼材の腐食性評価と防食技術研究小委員会（338 委員会）委員構成
- 2- 7- 2 コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会（第 2 期）委員構成
- 2- 7- 3 コンクリート構造物のせん断力に対する設計法研究小委員会（343 委員会）委員構成
- 2- 8 タイでのジョイントセミナー 資料
- 2- 9 吉田賞選考委員会 平成 23 年度予算（案）
- 2-10 平成 23 年度土木学会全国大会研究討論会一覧（抜粋）
- 2-11 平成 23 年度コンクリート委員会 一般会計 予算
- 2-12 コンクリート委員会 HP（抜粋）

議 事

1. 委員長挨拶

二羽委員長より，東日本大震災のがれき処分が進んでいないことや原発事故が収束しないことに加えて，関東地方では節電モードが定着しているなど，暗いニュースが多いので，大阪開催の今回の常任委員会では明るい元気をもらいたい旨の挨拶があり，円滑な議事進行への協力が依頼された。

2. 平成 23 年度第 1 回常任委員会議事録（案）の確認【資料 2-1】

綾野幹事より，平成 23 年度第 1 回常任委員会議事録（案）が説明され，異議なく承認されたが，これに関連して，以下の議論があった。

- ・津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会の成果は最終的には示方書に反映されるが，2012 年版には間に合わない可能性が高い。まずは，指針のような形で取りまとめる。
- ・技術シリーズとして発行される第 3 種小委員会報告書は，常任委員会の審議を経ないためコンクリート委員会はその内容について責任を負わない旨の記載を報告書中に定型文として明文化した方がいいという意見があったが，現時点ではそこまでの対応はせず，コンクリート委員会の HP にその旨の記載を

することとなった。

3. 審議事項

(1) 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会（221 委員会）の設置【資料 2-2】
丸山委員より、同委員会の委員構成案と成果の目標が説明され、承認された。ただし、資料中の委員構成の「庄司学（筑波大学）」は削除する。これに関連して、以下の議論があった。

- ・橋梁構造物の範囲としては、基本的には上部工を想定しているが、下部工との接合を考えた場合には、下部工も対象となる。
- ・道路ネットワークとして考えた場合には、下部工の洗堀など、橋梁全体で評価すべきである。
- ・示方書への反映は 2012 年制定版ではなく、その後になる予定である。

(2) 275 委員会の活動期間延長【資料 2-3】

武若委員より、275 委員会の活動期間延長（5 ヶ月間）が提案され、承認された。これに関連して、以下の議論があった。

- ・けい酸塩系表面含浸工法は、これまでの補修材料とは異なる特徴をもつ材料であり、その性能を評価するために、新たな試験方法を提案する必要性が生じている。提案する試験方法の内容は、同委員会において審議を重ねているが、土木学会規準として提案するための準備に時間を要している状況である。
- ・委員会活動期間の延長に伴う新たな予算の追加の必要はなく、委託側への了解も取り付けている。
- ・設計施工指針（案）は、常任委員会で 2 回は審議したいので、原案は遅くとも 1 月の常任委員会に提出する。あわせて、出版委員会に出版企画書を提出する。
- ・試験法の審議は、規準関連小委員会とも連携して検討を進めていく。

(3) 1 種・2 種委員会の委員追加・交代

二羽委員長より、次の 1 種・2 種委員会の委員の追加・変更・退任が提案され、承認された。

- ・土木材料実験指導書編集委員会【資料 2-4-1】
（交代）委員：齊藤紘美→狩野稔
- ・けい酸塩系表面含浸材設計施工研究委員会（275 委員会）【資料 2-4-2】
（交代）委託側委員：大北昭治→金子洋一，（追加）委託側委員：岸田貴弘
- ・国際関連小委員会【資料 2-4-3】
（役職変更）担当幹事→委員：信田佳延，委員→担当幹事：佐藤靖彦
- ・規準関連小委員会【資料 2-4-4】
（交代）委員：名取耕一朗→東田義彦
- ・コンクリート教育研究小委員会【資料 2-4-5】
（交代）委員：竈本武弘→木次克彦，（退任）委員：清水諭
- ・示方書改訂小委員会（101 委員会）維持管理編部会【資料 2-4-6】
（交代）委員：松本茂→新名勉

(4) その他

特になし

4. 報告事項

(1) 示方書改訂の状況と今後のスケジュール

丸山委員より、2012 年版示方書改訂の作業状況について、次のような報告があった。

- ・2012 年度中の発刊を目指すべく、鋭意作業中である。共通編の執筆作業を先行して実施しており、8 月末頃に示方書改訂小委員会を開催する予定である。
- ・各編ごとの審議は時差を設けて実施したいが、発刊と講習会開催は同時に行う予定であり、これについ

ては今後運営部会にて検討を進める。

これに関連して、鎌田委員より、規準編についても2012年改訂に向けて作業中である旨、報告があった。

(2) 英文示方書完成のアナウンス

横田委員より、英文示方書が完成し、コンクリート委員会 HP にアップロードされたことが報告された。内容について、不備な点等あれば、随時更新していくので、連絡をお願いしたい旨の依頼があった。

(3) 出版委員会からの報告

丸屋幹事より、出版関係について次の報告があった。

- ・2011年度は、高流動コンクリート施工指針（案）、コンクリートのポンプ施工指針（案）、けい酸塩系表面含浸材設計施工指針（案）の3編のコンクリートライブラリーを発刊予定である。
- ・2012年度の出版計画の提出依頼が近々あるので、出版を予定している委員会等は企画書の提出をお願いしたい。2012年度の出版計画の審議は次の予定で行われる。

8月：企画書の提出依頼、9月末：企画書の提出期限、10月：出版委員会開催、11月：ヒアリング、1月：理事会承認

(4) 3種委員会の申し合わせ事項【資料2-5】

下村幹事長より、平成23年度第1回常任委員会での指摘を踏まえて修正を行った3種委員会申合せ事項について報告があった。この申合せ事項は、既にコンクリート委員会のHPにアップロード済みであるが、より分かりやすい場所に置くことが提案された。この申合せ事項の内容について、意見があれば幹事団に連絡するよう依頼があった。

(5) 3種委員会の委員公募【資料2-6】

島委員より、3種委員会（鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会）（2期目）の設置と委員公募について報告があった。

(6) 3種委員会の委員交代

綾野幹事より、次の3種委員会の委員の追加・変更・退任が報告された。

- ・コンクリート中の鋼材の腐食性評価と防食技術研究小委員会（338委員会）【資料2-7-1】
（交代）委員：井川一弘→篠田吉央、委員：金本康宏→松山公年、委員：山本賢司→宮口克一、（新任）委員：山田一夫
- ・コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会（339委員会）【資料2-7-2】
（新任）委員：岡崎慎一郎、山田雅彦、（勤務先変更）委員：内田慎哉、鈴木哲也、吉沢勝
- ・コンクリート構造物のせん断力に対する設計法研究小委員会（343委員会）【資料2-7-3】
（交代）委員：竈本武弘→林秀和、委員：吉川卓→武知勉、（退任）委員：花島崇

(7) タイとのジョイントセミナー【資料2-8】

中村委員より、8/17にタイ・バンコクで開催されるジョイントセミナー「近年の日本における地震被害とコンクリート標準示方書による耐震設計」の概要について報告があった。国際関連小委員会の活動として、講演のビデオ撮影を行う予定であり、ビデオの活用方法については今後同委員会にて検討する旨の説明があった。

(8) 講習会開催報告

事務局・村木氏より、6/23に開催された「若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会」の報告があった。70名の定員に対して71名の参加があり、吉田賞選考委員会への寄付として500円/人を集めた結果、35000円程度集まった旨の報告があった。

(9) 吉田賞選考委員会の運営について【資料2-9】

中村委員より、吉田賞選考委員会の予算見通しについて報告があった。これに関連して、次の議論があった。

- ・支出を見直した結果、平成23年度の支出額を85万円程度まで削減した。

- ・ 今後は、銀行預金などの資産を切り崩して、吉田賞の授与を継続していく。
- ・ コンクリート委員会からの寄付についても、引き続き可能な範囲でお願いしたい。

(10) 全国大会研究討論会【資料2-10】

下村幹事長より、土木学会全国大会において、構造工学委員会と合同で研究討論会を開催する旨の報告があった。日時は、9/7（水）の16:15～18:15で、広い会場を準備しているので、積極的に参加頂きたい旨の依頼があった。

(11) 予算状況【資料2-11】

下村幹事長より、平成23年度のコンクリート委員会の予算計画（案）が報告された。これに関連して、次の議論があった。

- ・ 収入のうち、調査研究費とH21年度行事収益還元金の額については、未確定である。
- ・ コンクリート委員会の特別会計として380万程度の残高がある。事前に申請すれば使用することは可能なので、コンクリート委員会のアクティビティを上げる活動があれば積極的に提案して欲しい。
- ・ 示方書改訂小委員会の活動が活発化しているので、予算の増額をお願いしたい。

(12) コンクリート委員会ホームページについて【資料2-12】

綾野幹事より、コンクリート委員会のHPの更新状況について報告があった。また、佐藤幹事より、英語版HPの更新については、今後は国際関連小委員会が担当することが報告された。

(13) その他

綾野幹事より、次回常任委員会にて議論する予定の各委員会の活動状況について、報告書の作成依頼があった。詳細は、追って下村幹事長よりメールが配信される。

信田委員より、最近のConcrete International誌に3号連続で規準作成の考え方についての記事が掲載されており、示方書改訂の参考になるとの話題提供があった。

5. その他

次回幹事会：2011年8月30日（火）15:00～17:00（案件の締切は前日8/29）

第3回常任委員会：2011年9月6日（火）14:00～17:00 於：JALCITY松山

（第1回コンクリート委員会と合同開催）

以 上